

BUSINESS REPORT 2022

第119期報告書

2022年4月1日～2023年3月31日

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2023年3月31日をもちまして、第119期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに第119期報告書をお届けし、事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当社グループは、「人間尊重を基本に、新たな価値を創造し、信頼される企業として、地球に優しい社会造りに貢献する」を経営理念に掲げ、自動車及び産業・建設機械用熱交換器のトップメーカーとして、お客様の信頼を獲得してまいりました。

これからも業界をリードする品質の高い商品づくりを通して社会に貢献するとともに、株主の皆様のご支援にお応えすべく、業績の向上に努めてまいり所存でございます。

なお、当期の配当金につきましては、当事業年度の業績、今後の経営環境並びに事業展開等を総合的に勘案し、1株あたり16円（内、中間配当金8円）としております。

また、次期につきましては、2023年5月12日に公表のとおり、年間18円（うち中間配当金9円）を予定しております。



代表取締役社長

落合 久男

株主の皆様には、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

営業の概況

事業の経過及び成果

当連結会計年度（2022年4月1日～2023年3月31日）の当社グループ（当社及び連結子会社）の主要市場でありますトラック市場におきましては、国内向けは、車両生産の遅れにより販売は前年よりも減少しました。一方で海外向けは、東南アジア向けを中心に堅調に推移しております。

また、産業・建設機械市場におきましては、主に東南アジア向けを中心に需要は旺盛で、販売は前年よりも増加しました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、中国の売上はコロナウイルスや部品不足による顧客の生産減少の影響により前年に比べ減少しました。一方、日本では顧客の輸出向け販売の好調の影響により売上は堅調に推移し、またタイ・インドネシアでは景気回復を背景に前年に比べ増加しました。この結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は、前年に比べ47億96百万円（17.8%）増加し317億85百万円となりました。

利益面におきましては、材料調達における市況の影響やコロナウイルスによるロックダウン、半導体不足による顧客製造ラインへの影響、電力料をはじめとしたエネルギーコスト高騰など厳しい事業環境が続いておりますが、それらに対応した固定費の削減などの原価低減活動を継続的に進めてまいりました。加えて材料高騰影響などの価格反映等を進めた結果、営業利益は、前年同期に比べ9億16百万円改善し8億23百万円（前年同期は92百万円の営業損失）、経常利益は、前年同期に比べ7億53百万円（784.7%）改善し8億49百万円となりました。また、特別損失として当社製品に起因するリコールに伴う費用の計上等があるものの、親会社株主に帰属する当期純損失は、前年同期に比べ82百万円改善し7億18百万円（前年同期は8億1百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

対処すべき課題

当社グループは、「世界最高の製品を提供し、全てのステークホルダーと共に発展し続ける企業となる」をコーポレートビジョンとし、引き続き、取引先のニーズに対応した製品開発に力を入れ、低コスト、高品質の製品供給に努めてまいります。

先進国を中心に動きが加速しているカーボンニュートラル化の影響もあり、今後、主要市場でありますトラック市場、建設機械市場の環境変化が一段と加速していくと想定しております。

当社グループといたしましては、2021年5月に公表しました中期経営計画「TRS Vision-2025」を当社グループ一丸となって実現し、2030年にモノづくり力で業界トップクラスを目指してまいります。具体的な対処すべき課題としては以下のとおりであります。

- ①製品軸管理による製品競争力向上、将来戦略の実行
- ②既存拠点、商品を活用した中国、東南アジアへの新規顧客開拓
- ③xEV、FCVを含む新エネルギー車（NEV）対応商品の開発
- ④モノづくり力向上施策の実行
- ⑤SDGs、ESGへの取り組み

連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科 目	第119期 (当期) (2023年 3月31日現在)	第118期 (2022年 3月31日現在)
資産の部		
流動資産	18,150,294	20,686,077
固定資産	11,018,051	10,954,713
資産合計	29,168,346	31,640,791
負債の部		
流動負債	8,764,019	7,326,794
固定負債	1,254,993	964,493
負債合計	10,019,013	8,291,287
純資産の部		
株主資本	15,233,474	19,767,361
その他の包括利益累計額	2,082,634	1,870,736
非支配株主持分	1,833,223	1,711,406
純資産合計	19,149,332	23,349,504
負債純資産合計	29,168,346	31,640,791

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位：千円)

科 目	第119期 (当期) (2022年4月1日から 2023年3月31日まで)	第118期 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,503,192	△180,843
投資活動によるキャッシュ・フロー	△908,798	△991,401
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,985,675	△622,336
現金及び現金同等物に係る換算差額	118,270	284,739
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,273,010	△1,509,842
現金及び現金同等物の期首残高	6,487,277	7,997,119
現金及び現金同等物の期末残高	5,214,267	6,487,277

連結損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	第119期 (当期) (2022年4月1日から 2023年3月31日まで)	第118期 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)
売上高	31,785,486	26,988,673
売上原価	28,033,056	24,441,057
売上総利益	3,752,430	2,547,616
販売費及び一般管理費	2,929,087	2,640,431
営業利益又は営業損失 (△)	823,342	△92,815
営業外収益	247,659	210,064
営業外費用	221,848	21,264
経常利益	849,153	95,985
特別利益	329	4,760
特別損失	950,101	49,228
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (△)	△100,617	51,517
法人税、住民税及び事業税	262,476	216,883
法人税等調整額	222,743	543,690
当期純損失 (△)	△585,837	△709,057
非支配株主に帰属する当期純利益	132,929	91,991
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	△718,766	△801,048

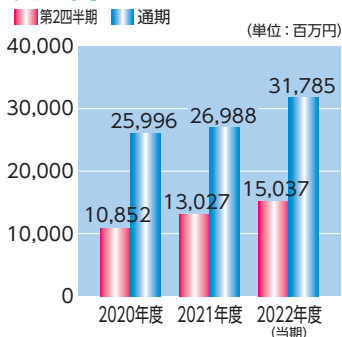
連結株主資本等変動計算書 (2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位：千円)

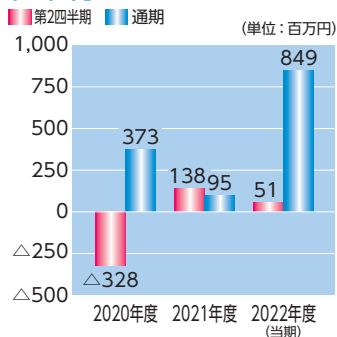
項目	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,317,600	778,300	17,676,048	△4,587	19,767,361	571,101	931,966	367,668	1,870,736	1,711,406	23,349,504
当期変動額											
剰余金の配当			△115,103		△115,103						△115,103
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△718,766		△718,766						△718,766
自己株式の取得				△3,700,016	△3,700,016						△3,700,016
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						6,337	439,351	△233,790	211,898	121,817	333,715
当期変動額合計	—	—	△833,870	△3,700,016	△4,533,887	6,337	439,351	△233,790	211,898	121,817	△4,200,171
当期末残高	1,317,600	778,300	16,842,178	△3,704,603	15,233,474	577,438	1,371,318	133,877	2,082,634	1,833,223	19,149,332

連結財務ハイライト

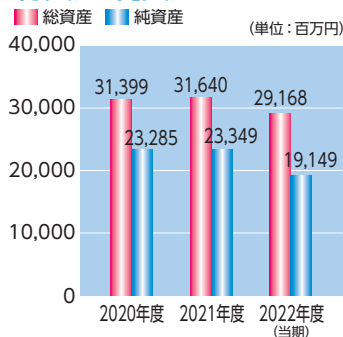
売上高



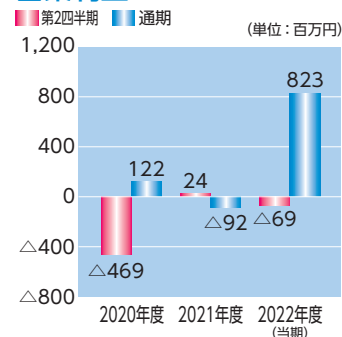
経常利益



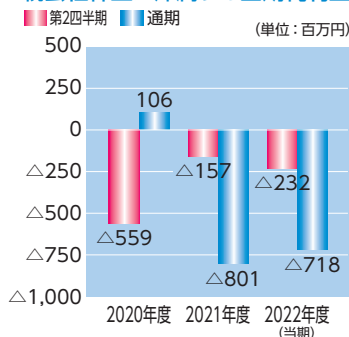
総資産・純資産



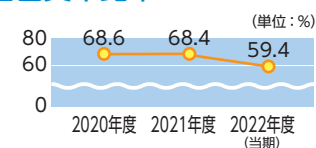
営業利益



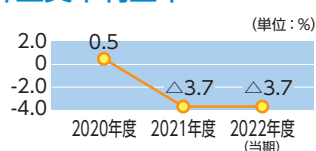
親会社株主に帰属する当期純利益



自己資本比率



株主資本利益率



単体財務諸表

貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科 目	第119期 (当期) (2023年 3月31日現在)	第118期 (2022年 3月31日現在)
資産の部		
流動資産	8,718,279	11,111,804
固定資産	9,792,084	9,509,154
資産合計	18,510,364	20,620,959
負債の部		
流動負債	7,854,942	5,977,333
固定負債	984,695	422,290
負債合計	8,839,638	6,399,624
純資産の部		
株主資本	9,093,288	13,650,233
評価・換算差額等	577,438	571,101
純資産合計	9,670,726	14,221,335
負債純資産合計	18,510,364	20,620,959

損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	第119期 (当期) (2022年4月1日から 2023年3月31日まで)	第118期 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)
売上高	23,991,583	20,080,872
売上原価	22,188,160	19,262,781
売上総利益	1,803,422	818,090
販売費及び一般管理費	1,954,007	1,717,765
営業損失 (△)	△150,584	△899,674
営業外収益	832,973	560,408
営業外費用	210,346	7,925
経常利益又は経常損失 (△)	472,042	△347,191
特別利益	329	—
特別損失	949,166	44,765
税引前当期純損失 (△)	△476,793	△391,956
法人税、住民税及び事業税	90,046	57,948
法人税等調整額	174,985	48,851
法人税等合計	265,031	106,800
当期純損失 (△)	△741,825	△498,757

株主資本等変動計算書 (2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位：千円)

項目	株 主 資 本						評価・換算差額等		純資産 合計		
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価 差額金		評価・換算 差額等合計	
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 繰越利益 剰余金						利益 剰余金 合計
当期首残高	1,317,600	778,300	778,300	135,000	11,423,920	11,558,920	△4,587	13,650,233	571,101	571,101	14,221,335
当期変動額											
剰余金の配当					△115,103	△115,103		△115,103			△115,103
当期純損失 (△)					△741,825	△741,825		△741,825			△741,825
自己株式の取得							△3,700,016	△3,700,016			△3,700,016
株主資本以外の項目の当期 変動額 (純額)									6,337	6,337	6,337
当期変動額合計	-	-	-	-	△856,928	△856,928	△3,700,016	△4,556,945	6,337	6,337	△4,550,608
当期末残高	1,317,600	778,300	778,300	135,000	10,566,992	10,701,992	△3,704,603	9,093,288	577,438	577,438	9,670,726

【中期経営計画 TRS Vision-2025について】

「TRS Vision-2025」は
こちらの2次元バーコードから



当社は2021年5月に中期経営計画「TRS Vision-2025」を作成し公表いたしました。

10年後のありたい姿・あるべき姿として「2030年 モノづくり力で業界トップレベル」を定め、5年後のあるべき姿を中期経営計画ビジョン「変わる」「応える」「高める」として策定しています。この中計経営計画ビジョンを実現するための5つの戦略として、事業戦略としての「製品戦略」「グローバル戦略」「成長戦略」、生産基盤戦略としての「スマートファクトリー戦略」、組織基盤戦略としての「人材戦略」を策定いたしました。

1. 「製品戦略」

競争力を“高める”ために、製品性能を向上させながらコスト改善を実現した新型製品の開発が実を結び、2023年度より市場投入いたします。

2. 「グローバル戦略」

海外事業を“高める”ために、2025年度で海外売上比率30%以上とする目標に対し、2023年度の事業計画における海外売上高比率は26%に達する予定です。

3. 「成長戦略」

新製品で時代に“応える”ために、2025年度にはNew Energy

Vehicle向けの新製品を量産納入する目標に対し、2023年度より前倒して燃料電池車向けに新たに開発したラジエーターを海外のお客様向けに量産納入しております。国内においても、電気自動車向けラジエーターを23年度中に量産納入開始する予定です。

4. 「スマートファクトリー戦略」

競争力を“高め”、更に省エネを両立させた生産ラインの導入を2023年よりスタートさせ、着実に進捗しております。

5. 「人材戦略」

従業員とのエンゲージメントを“高める”ことで、中期経営計画「TRS Vision-2025」実現に向けた組織基盤をつくる活動は、計画どおりに進捗しております。

引き続きこれら5つの戦略を着実に実行することで、中期経営計画「TRS Vision-2025」における計数目標として策定している中計最終年度2025年 売上高335億円 営業利益率5%の達成に向けて順調に進捗しております。

当社は、中期経営計画の実現をととして、大きく変革するビジネス環境においても、新たな価値を創造し、持続的成長を実現してまいります。

国内・海外拠点



国内子会社

株式会社トーシテクノ（東京ラジエーター製造本社内）

海外子会社

無錫塔爾基熱交換器科技有限公司 [中国]

重慶東京散熱器有限公司 [中国]

PT. TOKYO RADIATOR SELAMAT SEMPURNA [インドネシア]

TR Asia Co., LTD. [タイ]

技術援助先

タイラジエーター製造社 [タイ]

PT.スラマト.サンプルナ社 [インドネシア]

会社情報

会社概要 (2023年3月31日現在)

社名	東京ラヂエーター製造株式会社
英文社名	TOKYO RADIATOR MFG. CO., LTD.
設立	1938年10月15日
資本金	13億1,760万円
従業員数(連結)	901名
事業所	本社・藤沢工場 〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤2002番地1 TEL 0466-87-1231 (代表)
営業品目	〈熱交換器〉 ラジエーター、オイルクーラー、インタークーラー、EGRクーラー 他 〈車体部品〉 燃料タンク、SCRタンク、オイルパン、バキュームタンク 他
連結子会社	株式会社トーシンテクノ 無錫塔尔基熱交換器科技有限公司 重慶東京散熱器有限公司 PT. TOKYO RADIATOR SELAMAT SEMPURNA TR Asia Co., LTD.



本社・藤沢工場

役員 (2023年6月29日現在)

代表取締役社長	落合久男	常勤監査役	松元良一
取締役	三村健二	監査役 (社外監査役)	伊藤隆治
取締役	木村裕哲	監査役 (社外監査役)	霞末陽介
取締役 (社外取締役)	田口洋一	監査役	田中晃
取締役 (社外取締役)	高村藤寿		

株式情報

株式の状況 (2023年3月31日現在)

- ◆ 発行可能株式総数 …………… 43,200,000株
- ◆ 発行済株式の総数 …………… 14,400,000株
- ◆ 1単元の株式数 …………… 100株
- ◆ 株主総数 …………… 1,844名

◆ 大株主

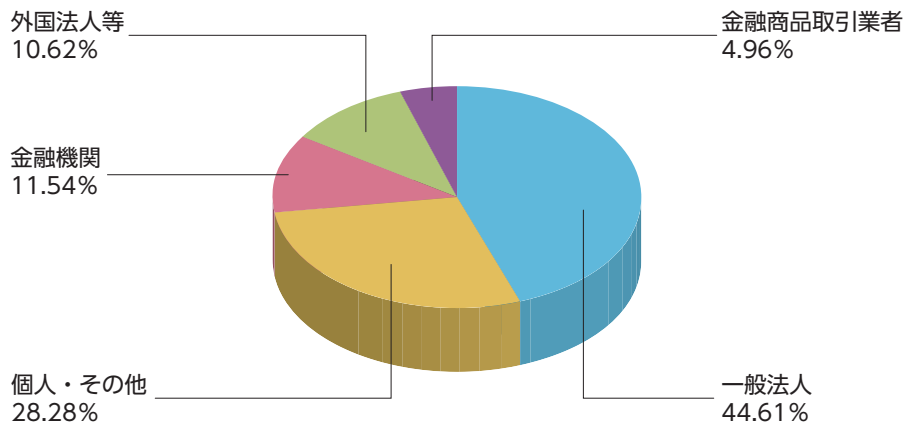
株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
マ レ リ 株 式 会 社	2,053	21.87
い す ゞ 自 動 車 株 式 会 社	675	7.19
山 崎 金 属 産 業 株 式 会 社	525	5.59
佐 藤 商 事 株 式 会 社	501	5.34
INTERACTIVE BROKERS LLC	319	3.40
株 式 会 社 み ず ほ 銀 行	300	3.20
日 新 火 災 海 上 保 険 株 式 会 社	300	3.20
東 京 ラ ズ エ ー タ ー 製 造 取 引 先 持 株 会	197	2.11
AVI JAPAN OPPORTUNITY TRUST PLC	182	1.94
日 本 マ ス タ ー ト ラ ス ト 信 託 銀 行 株 式 会 社 (信 託 口)	179	1.91

(注1) 当社は自己株式を5,012,107株保有しておりますが、上記からは除外しております。

(注2) 持株比率は自己株式 (5,012,107株) を控除して計算しております。

◆ 株式の分布状況

(所有者別株式比率)



株式についてのご案内

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日 なお、中間配当を実施するときの株主確定日は 9月30日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 (お問合せ先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告 ただし、電子公告によることが出来ない事故、 その他やむを得ない事由が生じた場合には、 日本経済新聞に公告します。
公告掲載URL	http://www.tokyo-radiator.co.jp/

ホームページについてのご案内

当社のホームページでは、IR情報をはじめとした様々な情報を掲載しております。是非ご覧ください。



<http://www.tokyo-radiator.co.jp/>

【社会とTRSグループの持続可能性の両立に向けて】

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

TRSグループは、「人間尊重を基本に、新たな価値を創造し、信頼される企業として地球に優しい社会造りに貢献する」ことを経営理念として掲げ、企業活動を推進しております。

この度、社会とTRSグループの持続可能性の両立を目指し、サステナビリティ推進活動をさらに強化・加速させるために、2023年度よりサステナビリティ推進委員会を立ち上げました。

既に公表しております中期経営計画「TRS Vision-2025」においても、持続可能な社会の実現としてESG・SDGsに関する目標値を設定し、達成に向けての活動を継続しております。



TRSが取り組むSDGs

TRS 東京ラヂエーター製造株式会社

〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤2002番地1
TEL 0466-87-1231 (代表)

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

